

# 磐梯町 議会だより

第 200 号

平成22年 8 月

発行 磐 梯 町 議 会  
福島県耶麻郡磐梯町  
大字磐梯字中ノ橋1855  
☎ 0242-74-1219  
編集 議会広報委員会



磐梯中学生の遺跡発掘体験

## 夏 号

### 6 月定例会報告

|              |     |
|--------------|-----|
| * 国保税改定      | 2   |
| * 指定管理者・補正予算 | 3   |
| * 請願・意見書     | 4   |
| * 一般質問       | 5～9 |
| * 行政視察調査     | 10  |
| * 200号発刊記念   | 12  |
| * 議会の動き      | 14  |



## 国民健康保険税改定を可決



平成22年6月定例会は、14日から18日までの5日間の会期で開催されました。

条例改正や補正予算、指定管理者の指定など全11議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

### 国民健康保険税条例の改正

平成21年度分の所得と、国民健康保険特別会計の繰越金の確定により、国民健康保険税の按分率を見直し、税率が改定されました。

今日の経済状況を加味し、基金を取り崩して充当し、税額は昨年度と同程度の額となりました。

#### 主な質疑

**問** 医療分が増額となる要因はなにか。

**答** 21年度の入院分の医療給付費が大きく増加し、1人当たりの医療費が26万2886円で県下3位、伸び率では18・2％で県下1位という結果になりました。さらに22年度も引き続き増加傾向にあります。

**問** 23年度以降の推移を、どのように予測しているか。

**答** このまま医療費の増加が続き、経済状況により税収も悪化すれば、基金をこれ以上取り崩すことはできないため、税率を上げるしかないと予測しています。

[応益割50％、応能割50％]

(単位：円)

| 区 分   | 医 療 分  |        | 支 援 分  |       | 介 護 分 |       |
|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
|       | 21年度   | 22年度   | 21年度   | 22年度  | 21年度  | 22年度  |
| 均 等 割 | 10,728 | 12,496 | 10,672 | 8,113 | 9,807 | 9,656 |
| 平 等 割 | 9,195  | 10,640 | 9,147  | 6,908 | 5,370 | 5,348 |
| 所 得 割 | 2.47％  | 3.08％  | 2.45％  | 2.20％ | 1.53％ | 1.72％ |
| 資 産 割 | 11.39％ | 12.90％ | 11.34％ | 9.24％ | 7.65％ | 8.98％ |

## 指定管理者

### 地域活性化センター

道の駅ばんだいの地域活性化センターにおいて、販売スペースを設け、有効活用と道の駅全体のより一層の充実を図るため、施設の管理運営が次の団体に指定されました。

■ 指定管理者となる団体  
株式会社社会津嶺の里  
代表取締役 五十嵐源市

### 主な質疑

**問** 株式会社津嶺の里に管理させることにより、施設本来の設置目的が失われるのではないか。

**答** 管理に関する基本協定書により締結し、指定意義及び管理業務の実施にあたっては、公共性を十分に理解し、その主旨を尊重されるものとなっています。

## 補正予算の概要

### 主な質疑

#### 一般会計

**問** 防災行政情報システム整備費の工事費と備品費をなくし、負担金一本に変更することは、工事の契約について議会の議決を得ないことになる。また、二社への発注となり、競合できない。入札について問題があるのではないか。

**答** 契約の際には、協定書について、議会の承認を得るようにしたいと思います。



地域活性化センター内を調査

**問** 自治振興費の220万円の増額はなにか。  
**答** 町制施行50周年の町民への記念品代です。  
**問** 当初に予算化すべきであり、記念行事に向けての準備が遅いのではないか。  
**答** 実行委員会を立ち上げ鋭意準備に取り組んでいます。

| 会 計          | 補 正 額     | 補正後の予算総額     | 主 な 内 容                                      |
|--------------|-----------|--------------|----------------------------------------------|
| 一 般 会 計      | 3,177万8千円 | 32億7,042万2千円 | 固定資産税・児童福祉費・農業振興費・情報通信施設費・自治振興費・道路橋梁費・中学校備品費 |
| 国民健康保険特別会計   | 46万6千円    | 4億6,123万9千円  | 保険税・国県負担金<br>保険給付費                           |
| 農業集落排水事業特別会計 | 702万1千円   | 1億151万3千円    | 繰入金・事業債<br>施設整備費                             |
| 公共下水道特別会計    | 0円        | 1億7,940万5千円  | 繰入金・事業債                                      |



# 町政を問う (一般質問)

(登壇順)

## － 吉 田 徳 昭 議員 －

1. 慧日寺史跡等文化財保護、保全の整備について
2. 磐梯山慧日寺資料館庭園周辺の環境整備について

## － 遠 藤 将 夫 議員 －

1. 磐梯町まちづくり整備事業について
2. 公共施設の安全管理について

## － 佐 藤 貞 夫 議員 －

1. 町営住宅の建て替え計画と環境整備について
2. 地域循環型施策の推進で町の活性化を

## － 鈴 木 和 意 議員 －

1. 防災システム整備と交流館建設事業について
2. 米の戸別所得補償制度の取り組みについて
3. 国民健康保険の負担金減免等について

## － 鈴 木 久 － 議員 －

1. 磐梯町駅西口周辺の防犯について
2. 国際交流について

## 請 願

次の請願が採択されました。

- 2011年度の教育予算の拡充と教職員定数の改善を求める意見書提出に関する請願  
(福島県教職員組合中央執行委員長・北会支部長)

## 意 見 書

議員提出の意見書が可決され、それぞれの関係機関に送付されました。

- 2011年度の教育予算の拡充と教職員定数の改善を求める意見書
- 非核三原則の早期法制化を求める意見書
- 保育制度改革に関する意見書

議決されたその他の議案

- ◆ 専決処分事項の承認
- ・ 税条例の改正
- ・ 税特別措置条例の改正
- ・ 国民健康保険税条例の改正

◆ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正

◆ 職員の育児休業等に関する条例の改正

## 次回の定例会は9月中旬に行われます。

ぜひ傍聴においでください。

手続きは、3階議場入口で住所氏名を記入するだけです。

※くわしい日程は後日チラシでお知らせします。



## 一般質問

— 吉 田 徳 昭 議員 —



### 慧日寺史跡文化財保護・保全の整備と 伝統文化財の継承を問う

(町 長) (教育長)

環境整備を見直し実現の方向で進める

【質問】 金堂へ来訪される方々は、町指定の文化財建造物で仁王門や仁王像はじめ薬師堂や龍宝寺、徳一廟、恵日寺を見物される。仁王門や仁王像の修復再現や周辺の環境整備について町の助成を含めて考えを問う。

【答弁】 慧日寺史跡等文化財保護、保全の整備については文化財調査委員の指導、助言等をいただきながら、所有者と協力して建物様式や内装、外観等の保持に努めています。今後とも郷土の貴重な文化財を後世に引き継ぐために、保存、管理、修理について必要な支援等を行ってまいります。

【質問】 町の文化財として各集落に舟引や坐女舞、彼岸獅子等がある。その文化財の伝統を継承し、後世に引き継ぎ保持をしていくために地区では大変苦慮されているようである。  
これらの文化的伝統を継承し保持継続を考えるなら

ば、地域、町、教育委員会が一体となって改善策を立て対処すべきと思う。教育委員会としての指導と対応はどうか。

【答弁】 無形文化財の継承についてその地区、団体からの要請は具体的にはありません。過日、区長会においても、同様の懸念がございましたが、教育委員会では地区から要望があった場合には、いつでも対応できる体制にありますのでご理解願います。

資料館庭園と池の  
環境整備を図れ

答弁 町長

【質問】 慧日寺資料館を来訪される多くの方々に対して龍ヶ沢の名水とともに、庭

園内の空間にも癒される四季折々の観賞、観察できる植栽、植物の整備を促進し、庭園内を流れている水路を利用し、蓮の池や菖蒲池、水芭蕉の池として環境整備を行うべきである。  
また町制施行50周年記念事業や、秋に開催される全国遺跡環境整備会議に来町される方々にも、良い印象を提供できると思うがどうか。

【答弁】 資料館庭園周辺については、昭和62年の開館以来、植栽の手入れ等の充実に努めてきました。しかし一部にガマなどの、植栽をした以外の植物の生息も見受けられるため、より一層の維持管理に努めてまいります。歴史、文化をかもしだす植栽の充実を図り、会津嶺の里にふさわしい資料館へ育てていきたいと考えます。



2010/05/04

慧日寺資料館庭園の池

## 一般質問



— 遠藤 将夫 議員 —

### まちづくり整備事業の進行状況を問う

(町長)

県にも協力を求め、計画に基づいて完成するよう努力している

【質問】 まちづくり交付金事業は平成23年までの5ヶ年の事業で、すでに完成した部分もあるが、今後2年間で完成させなくてはならない。若者定住住宅建設事業では人口の増加目標や、駅前広場、自由通路などは駅の利用客の成果目標がある。事業整備後に目標に満たない場合、交付金事業として今後の事業費に影響するのか、また、事業費の一部の返還はあるのか。

【答弁】 事後評価による達成状況等を検証し、要因分析を行い、今後のまちづくりを生かすことを主眼としており、目標数値に達しなくても事業費への影響はもとより、交付金の返還はありません。

【質問】 整備方針概要図によると、古い建物を利用しての街並利活用で、来訪者を町道小中野線を歩行させて、役場庁舎脇を通り史跡慧日寺方面に誘導する計画である。駅前から森の山地区間、さらに第一小学校間の道路を、電柱ケーブルを地下埋設して歩道を幅広くし、通学路や歩行者に安全な遊歩道を提供すべきと考える。また、グリーンシーズンは一方通行としてはどうか。さらにその工事を融雪道路の無散水工事のパイプ埋設とあわせられないか。

【答弁】 駅前から第一小学校までの道路は県道のため、県が管理しています。排水溝の蓋がけは、安全確保のため早急に県に要望します。

電柱の地下埋設は、かなりの費用負担が発生するため、県は優先順位の年次計画を立てて整備をしており、すぐには対応できませんが、まちづくりの観点からできる限りの努力をお願いしていきます。一方通行の車道にすることは、地域の方々の重要な生活道路でもある

ため、住民の皆さんとのコミュニケーションが最も重要であり、慎重に検討すべきであると考えます。

23年度には、地域住民や鉄道を利用して町を訪れるかたの心休まる癒し、憩いの空間の場として提供できるように整備を図ります。



大寺の街並み

【質問】 駅自由通路や駅前東口広場の町民利用が始まったが、利用者の安全確保、住みやすいまちづくりのために防犯カメラを設置して、個人情報保護から監視カメラではなく一週間程度のビデオ録画をすることにより、防犯の対策を図るべきと考えるがどうか。

【答弁】 駅自由通路は、地下道という構造上、犯罪がわかりにくく、危険性も高いため、JR東日本と防犯カメラ設置に向け協議を進め、近々設置する予定です。また、駅前東口広場についても今年度の整備の中で設置する考えです。

答弁 町長

公共施設の防犯対策を

## 一般質問

— 佐 藤 貞 夫 議 員 —



### 町営住宅の建て替えの計画を示すべきではないか

(町 長)

意向調査を参考に町営住宅の維持管理に努めている



諏訪山町営住宅

【質問】漆方や諏訪山の町営住宅は、築57年、54年と大変古く、老朽化も激しく入居者の方も、町の建て替え方針が明らかになっていないことから、一様に不安を抱いている。部分的な補修を行うより、建て替えを行うべきであり、建て替えの計画を示すべきではないか。

【答弁】町民が健康で文化的な生活を送れるよう、町営住宅を整備してきましたが、建築年度が昭和31年以前の

ものが18戸、老朽化し居住が困難な空き家が4戸となつています。町では町営住宅入居者への意向調査を毎年実施しています。それらを参考にしながら町営住宅の維持管理に努めているところです。

【質問】当面、建て替え計画がないとするならば、町営住宅の耐震化計画を示すべきである。

【答弁】平成18年度より、ま

ちづくり地域活性化少子化対策として整備してきた若者住宅と併せて、社会情勢を考慮しながら今後の整備計画等を策定していく考えです。

【質問】駐車場についても舗装計画を示すべきであり、未舗装が続くならば、使いやすく整備すべきではないか。

【答弁】諏訪山町営住宅駐車場の舗装推進と町有地活用計画についても、総合的な観点に立って検討してまいります。

地域循環型施策の推進で町の活性化を

答弁Ⅱ町長

【質問】町も自ら仕事をつくりだし、仕事を失った人達

に仕事の場、働く場を提供すべきである。

【答弁】雇用対策の一環として道の駅などにおける雇用の機会の提供や、地元企業に地元雇用の促進をお願いするなどの対応を行っていくところです。

【質問】公共施設の修理、または個人宅の家屋の耐震化やリフォームを行なう際に、町からの助成があれば発注しやすく、地元の業者を使うようにすれば町の活性化にもなるため、助成金制度をつくるべきではないか。

【答弁】介護や障害者支援のための住宅改修補助やエコポイントのある住宅建設、また、耐震改修工事費用などへの補助制度が設けられているところであり、これらの制度の周知を図り、その推移を見ながら検討してまいります。



## 一般質問



鈴木和意 議員

### 新規整備事業の内容を明らかにせよ

(町長)

町民の生活の向上に有益な整備内容である

【質問】防災行政情報システム整備事業は、将来にわたって多額の町負担が伴うものであり、システムの年間の維持管理費も含めてどれ程の予算措置になるのか示されたい。

【答弁】テレビ電話及び住宅までの引込み線等を含め3億8百万円程度になる見込みですが、財源については過疎債の充当を予定しています。維持管理費については年間2千5百万円程度を予定しています。

【質問】you・ゆー前の町有地に新規事業として「交流館」を建設する予算措置が行われたが、施設の概要や利用目的及び施設の運営等を明らかにせよ。

【答弁】町内外の個人、団体が主催するギャラリー展や体験学習教室、フリーマーケットなど多様なイベントができる多目的スペースとサロンのような憩いの空間を備えた施設整備を考えています。運営は、ある程度自由度を持たせた民間的感覚の利用形態にしていきたいと考えています。

【質問】米戸別所得補償制度の取り組み状況は

答弁〓町長

【質問】米戸別所得補償モデル事業の加入状況と生産目標面積の配分状況は。

【答弁】対象者は266人ですが、現在申請を済ませた人は171人です。



議員への防災行政システム説明会

【質問】転作を確保するため加工米を希望する農家が増えたが、一部の農家の方に対し、農協には出荷できないという事態が発生した。町の対応はどうなっているのか。

【答弁】町としてJAあいつに対し理解と協力を求め、加工用米のみについても集荷するようになりました。

【質問】生産調整を達成するため転作の肩代わりを選択した場合、生産目標面積を超える作付けとなるが、モデル事業には参加できるのか。

【答弁】肩代わりにより達成された方が交付対象者となることは、これまでと同様です。

国民健康保険の減免は

答弁〓町長

【質問】国保の加入状況とその構成は。

【答弁】平成22年5月末現在で579世帯1048人の加入です。職種別の把握はできておりません。

【質問】厚生労働省の通達のもと、町として国保の一部負担金減免制度の適切な運用や、医療機関との連携等についてはどうなっているのか。

【答弁】昨年7月都道府県に通知されたもので、平成21年度にモデル事業を実施した結果を踏まえ、平成22年度を目途に医療機関、保険者、行政機関の連携方策について改めて通知される予定となっています。



## 一般質問

— 鈴木 久 — 議員 —



### 磐梯町駅西口周辺の防犯対策を

(町 長)

防犯灯設置に向けＪＲと協議をしている



駅西口

【質問】 磐梯町駅西口周辺は、夜間照明が暗い。防犯対策はどのようになっているのか。

【答弁】 駅西口には現在、笠型で20ワット程度の防犯灯が3基設置されていますが、駅舎の反対側に設置されているために、駅利用者

にとっても余計に暗さを感じるものになっていると思われまます。西口駅舎側に歩行者照明、防犯灯を数基設置するよう土地所有者のＪＲ東日本と協議を進めているところです。

オリバーとの経済交流  
推進を

答弁 町長

【質問】 姉妹都市オリバーとの国際交流について、人的交流と相まって経済交流もたいへん大事である。道の駅ばんだいにオリバー市のブースを設け、物産の展示、販売をする考えはあるのか。

【答弁】 飲食物以外の経済交流は比較的容易にできるものと思われまます。今後情報収集をしながら実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

## みなさまの声をお寄せください！

磐梯町議会事務局

TEL 74-1219 FAX 73-4301

E-mail: bandai-gikai@town.bandai.fukushima.jp



# 行政視察調査報告

特徴あるまちづくり、地域活性化対策に積極的な取り組みをしている先進町村を、総務文教厚生委員会と環境委員会の合同で、視察調査してきました。

7月28日

## 長野県木曽町

旧中山道の宿場町で、豊富な観光資源を有する。平成17年に木曽福島町、日義村、開田村、三岳村が合併した。

人口1万2千人  
議会議員18名

### 【景観と街並みを活かした自立活性化の政策】

合併前の旧木曽福島町の時代に、中心市街地活性化を総合計画に盛り込み、住民の若い力を中心とした策定委員会が設置された。

平成13年度より各地区と景観形成住民協定を結び、それぞれの街並みのテーマをしばって整備に取り組んできた。



宿場町の風情を残したまちなみ整備

国土交通省の街並み環境整備事業や、経済産業省の中心市街地商業等活性化総合支援事業を活用し、総事業費の50%補助と過疎債を使って、40ヶ所以上にも上るハード事業と、ブランド

創造事業等20以上のソフト事業に取り組んできた。行政だけでなく、地域や商工会等が一体となって新たな踊りの創作や太鼓クラブ発足等、各種イベントに取り組んでいる。また、官民の出資によって設立された、第3セクター(株)まちづくり木曽福島では、80余名のボランティアによって、歩いて楽しい空間づくりプロジェクトが展開され、総務省の過疎地域自立活性化優良事例表彰を受けている。

7月29日

## 富山県入善町

富山県北東部の扇状地に位置し、国史跡を有し名水百選に認定されるなど、磐梯町と同様に文化のまちづくりを進めている。

人口2万7千人  
議会議員14名

### 【農・商・工業の振興政策】

よい水とよい米を活かし、米単作農家からの脱却を図るため、平成16年に町地産地消推進協議会を設立し、行政、農業、商業サイドの連携により地産地消の推進を目指している。また、昨年から農産物処理加工施設で、女性グループが味噌や米粉パン等の新商品開発に取り組んでいる。

さらに、農家では米以外の一品目づくりを推進し、生産量は少ないが、農商工連携により付加価値をつけ、双方の所得向上につなげる活動を展開している。



まちなか交流施設うるおい館

行政でも農商工連携事業補助金や起業チャレンジ応援事業補助金等を制定し、活動を支援している。

### 【まちなか交流施設の運営】

平成20年に竣工したまちなか交流施設うるおい館は、準備検討委員会によって、誘客のしくみや施設内容の検討が重ねられ、約10年間をかけて実現したものの。

商工会を指定管理者として、管理運営を任せている。絵画展や音楽会、地区の祭り等、多彩なイベントや会議、研修会に利用されている。

## 自治功勞議員表彰

5月25日開催の福島県町村議会議長会定期総会において、自治功勞者として鈴木和意議員、鈴木久一議員が表彰され、6月定例議会の席上で、穴澤議長より賞状が伝達されました。多年にわたり、町村自治の振興発展に尽力し、その功績が顕著であると認められたものです。



鈴木和意議員



鈴木久一議員

## 議会広報研修会



6月29日、ビッグパレットふくしまにおいて町村議会広報研修会が開催されました。議会だよりの発行意義や編集技術について、議会広報委員が研修しました。

## 議長杯ゲートボール大会

8月5日晴天のもと、町民運動場で毎年恒例の議長杯ゲートボール大会が開催され、4チームが熱戦を繰り広げました。議会議員チームも恒例により参加し、心地よい汗を流しました。

|     |       |
|-----|-------|
| 優勝  | 本寺チーム |
| 準優勝 | 源橋チーム |
| 第3位 | 横達チーム |





# 町の歴史 議会のあゆみ

## 議会だより200号

### ごあいさつ

議会広報委員会委員長 菅 沼 一 雄

議会だより第200号の発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。

第1号は、47年前の昭和38年7月に発刊されたものであり、他の市町村と比べ早い創刊であります。先輩議員の先進性に敬意を表するものです。

議会広報については、各市町村それぞれが創意工夫を凝らし、地域に密着した紙面づくりを心がけているものと思います。

磐梯町議会においても全国町村会主催の研修会及び福島県単位の研修会に参加して研鑽を重ねているところであります。

現在ではパソコンによる編集技術を習得し、効率的に作業を進めております。

広報委員会一同は地域の皆様の負託に答える議会活動を実践し、そのことをお伝えできる紙面づくりに努力いたす所存であります。

第21号  
昭和43年7月



第100号  
平成2年2月



第150号  
平成12年11月



# ふりかえってみよう



町制施行50周年の今年、議会だよりも今号でちょうど200号になりました。  
第1号は昭和38年7月に創刊され、47年間という実績は全国的にも歴史ある広報誌です。



## 議会の動き

5 月

- 10日… 地方議会議員年金制度説明会  
 18日～19日… 全国町村正副議長研修会  
 22日… 第一小学校運動会  
 23日… 第二小学校運動会  
 25日… 県町村議会議長会総会  
 26日… 会津若松地方土地開発公社理事会  
 27日… 会津総合開発協議会総会  
 28日… 議員全員協議会  
 会津若松地方広域市町村圏整備組合臨時議会  
 30日～6月2日… 会津耶麻町村議会議長会視察研修

6 月

- 5日… 会津を拓く最重点要望事項民主党要望会  
 6日… 消防協会猪苗代支部幹部大会  
 8日… 会津線等対策協議会総会  
 9日… 議会運営委員会  
 11日… 猪苗代地区防犯協会連合会総会  
 14日～18日… 6月定例会  
 20日… 厩嶽山祭り  
 磐梯朝日国立公園指定60周年記念式典  
 24日… 会津耶麻町村議会議長会議  
 29日… 議会広報委員会  
 町村議会広報研修会

7 月

- 4日… 消防団消防操法大会  
 9日… 議会広報委員会  
 17日… 北会津地区PTA研究大会  
 21日… 県町村議会議長会理事・監事会議  
 23日… 宮城県女川町議会視察来町  
 27日… 会津を拓く最重点要望事項要望活動(仙台)  
 28日～30日… 議会行政視察調査

## 宮城県女川町議会が来町

7月23日に女川町議会町立病院対策特別委員会15名が、地域医療政策について、視察に訪れました。



## 小学生が議会を見学

7月16日に第一小学校2年生5名が、生活科の授業で議会を訪れ、議場を見学しました。



## 編集後記

今年も異常天候で各地に被害をもたらしています。九州、山陽地方に集中豪雨がありました。

被災された皆さまには、一日も早く復興されることをお祈りします。

なんだか異常天候が、普通になっていつもの通りの事に思われます。

地球規模の温暖化による影響が出ています。

磐梯町に住んでいると、災害に遭うことが少なく、多少の大雪はスキー場の為と思うと苦にもなりません。

梅雨明け後は暑い夏が来てお盆です。

お盆に会える懐かしい人たちと、町が自慢できる歴史と自然の話と地球温暖化についての話をしたいと思います。

(文責 佐藤孝則)

議会だより

発行責任者

議長

広報委員会

委員長

副委員長

委員

六澤 保

菅沼 一雄

穴澤 勝俊

佐藤 孝則

鈴木 久一